

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年4月8日(2022.4.8)

【公開番号】特開2020-179056(P2020-179056A)

【公開日】令和2年11月5日(2020.11.5)

【年通号数】公開・登録公報2020-045

【出願番号】特願2019-86259(P2019-86259)

【国際特許分類】

A 6 1 B 3/032(2006.01)

10

【F I】

A 6 1 B 3/032

【手続補正書】

【提出日】令和4年3月31日(2022.3.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被検眼の光学特性を自覚的に測定する自覚式検眼装置であって、

前記被検眼に視標を表示する視標表示手段と、

検者が操作する操作手段であって、前記視標表示手段の画面上に表示された少なくとも1つ以上の前記視標に対して、前記視標のうちの所定の位置を指定するための操作手段と、前記検者による前記操作手段の操作で指定された前記所定の位置に基づいて、前記所定の位置に関する識別を被検者が行うための識別情報を、前記視標表示手段に表示させる表示制御手段と、

を備えることを特徴とする自覚式検眼装置。

30

【請求項2】

請求項1の自覚式検眼装置において、

前記操作手段は、前記視標に対応する対応情報を表示可能な操作用表示手段を有し、前記検者が前記操作用表示手段に表示された前記対応情報を指定することで、前記視標表示手段に表示される前記少なくとも1つ以上の視標に対して、前記所定の位置を指定することを特徴とする自覚式検眼装置。

【請求項3】

請求項2の自覚式検眼装置において、

前記対応情報は、前記視標を模した操作用視標画像であって、

前記操作手段は、前記検者が前記操作用表示手段に表示された前記操作用視標画像に対して位置を指定することで、前記視標表示手段に表示される前記少なくとも1つ以上の視標に対して、前記所定の位置を指定することを特徴とする自覚式検眼装置。

【請求項4】

請求項2～3のいずれかの自覚式検眼装置において、

前記表示制御手段は、前記操作手段の操作によって前記所定の位置が指定されたことに連動して、前記識別情報を前記視標表示手段に表示させることを特徴とする自覚式検眼装置

。

【請求項5】

請求項2～4のいずれかの自覚式検眼装置において、

前記表示制御手段は、さらに、前記操作手段により指定された前記対応情報に基づいて、

50

前記検者が前記所定の位置を識別するための検者用識別情報を、前記操作用表示手段に表示させることを特徴とする自覚式検眼装置。

10

20

30

40

50